

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	進学・就労特化型支援事業所ひまわり			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や職員の意見等を把握する機会を設けており、支援計画でその都度目標設定と振り返りをし、業務改善を進めるためのPDCA サイクルを確認をして、その内容を業務改善につなげている。出来ている。	ミーティング等で保護者の意見や利用者現状を職員同士で確認して把握する機会を設けて共有し、普段から職員全員が意見を言い合える環境作りや時間作って会議をし、具体的な業務改善を行う事で職員間の支援での意識の向上に繋がっていると思う。	普段から職員間の支援の悩みや対応に關しての相談を職員同士での声掛けや話し合いが出来る様な時間を増やす。
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保している。	定期的な研修や、職員や保護者の困り事や利用者の状況に応じて、必要な時には話し合う時間を設けて職員みんなで、その都度その時に合った研修をしている。	外部研修や学校見学や地域交流の機会をもっと増やし職員のスキルアップに繋げる。
3	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	相談があった場合、早い段階で時間を作り、保護者と面談をし困り事や不安を聞き入れてからその助言をしている。電話や連絡帳等でも対応し、小さな事でも保護者の話を聞いている。	保護者の困り事や不安などの相談会や支援方法や対応の講習会を開く時間を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を確実に行っていない時がある。	利用者の状況に応じた計画書を作成しているが、支援内容が曖昧になってしまう事があるので改善が必要と感じる。	支援計画を支援室に置き、職員がいつでも確認出来るようにし、問題が発生した場合はその都度時間を作り会議をし、話し合いが出来る時間を積極的に設ける。
2	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっていない時がある。	記録はとって、支援を試みた時どうなったか等の記録が曖昧になる事がある為、改善が必要と感じている。	振り返りは次の日の朝礼で行い、問題が起きた時に必要性がある場合は、その都度必ず会議時間を作る様にしている。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	地域のイベントに参加したり、地域の方との交流はしているが、子どもの交流はしていない為、今後の課題になる。	今後、地域や関係機関との連携も兼ねて、交流の機会のきっかけを作り積極的に参加していくように計画を立てる。